

訃報

去る2009年12月2日12時38分、平山郁夫シルクロード美術館理事長平山郁夫は入院先の都内病院で逝去いたしました。画家として、文化財保護者として、全力疾走した79年間でした。当館では、故平山郁夫理事長の文化財保護を通じた平和への理念を改めて思い起こし、故人の遺志として美術館を通して広く皆様にその理念をご理解いただけるよう今後とも努力していく所存です。これまでに多くの哀悼の意を頂戴いただきましたことをここに心より感謝申し上げます。



鎌倉のアトリエにて自作の前で



多くの来館者にご記憶を頂きました

平山郁夫

平山郁夫シルクロード美術館ニュース

No.

10

平成22年
3月30日発行

追悼コーナー

シルクロードの画家 平山郁夫 「平山郁夫 最期の風景」

2010年3月21日(日)～7月12日(月)

【第5展示室】

平山郁夫は病室とアトリエを往復する生活の中で、死の直前まで懸命に制作に取り組んでおりました。新たに世界の都市シリーズとして構想し、平成21年の春の院展に出品した「永遠の都ローマ」に続く作品となるはずであった「パリ・エッフェル塔」(仮題・未完成)や、本年8月トルコのイスタンブールで開催される『平山郁夫展』に向けて制作を進めていた作品、次回の春の院展の準備として病室で描いた窓越し

のスケッチ、アトリエに残された下図、日常の画材などを展示し、平山郁夫の最期の時間と風景を皆様にお伝えいたします。

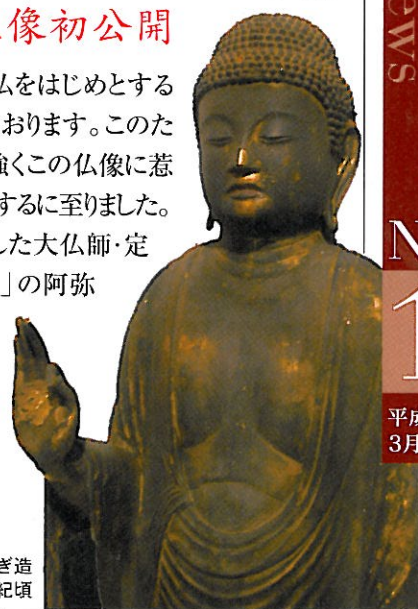


平山郁夫のスケッチブック

COLLECTION 新コレクション ●●●●● 阿弥陀如来立像初公開

当館ではガンダーラ仏をはじめとする多数の仏像を所蔵しております。このたび故平山郁夫が生前強くこの仏像に惹かれ、所蔵品として購入するに至りました。平安時代後期に活躍した大仏師・定朝が確立した「定朝様」の阿弥陀如来立像で、定朝様を規範とした仏師による制作と考えられます。この時代の作例としても貴重な本尊を初公開いたします。

割矧ぎ造
平安時代後期、十二世紀頃



カシミールショール —変化するペイズリー文様—展

2010年3月21日(日)～5月31日(月)

【第2、第3展示室】

インドの王侯がまとったカシミールのショールは、やがて19世紀のヨーロッパで女性のファッションを華やかに彩りました。可憐な草花文から複雑なペイズリーに変貌をとげた文様の変遷、カシミヤや山羊の素材、織りや刺繍の技法、ヨーロッパへの波及などの観点から展示します。



平山郁夫 お別れの会

昨年12月2日に逝去された平山郁夫を悼み、年が明けてから平山画伯ゆかりの各地で「平山郁夫 お別れの会」が行われました。

東京では2月2日(火)、財団法人日本美術院ならびに東京藝術大学の主催で港区のザ・プリンス・パークタワー東京においてお別れの会が盛大に執り行われました。

式典には三笠宮崇仁殿下をはじめ、美術界、政官財界の関係者や各国駐日大使ら約二千百名が参列しました。白い花で埋めつくされた祭壇には穏やかな表情の遺影と平山画伯が描いたシルクロードの作品からイメージした太陽と月の屏風が置かれ、天

皇、皇后両陛下、皇太子、同妃殿下、三笠宮殿下からの供花や文化勲章などが飾られました。

式典では松尾敏男日本美術院理事長、宮田亮平東京藝術大学学長、松浦晃一郎前ユネスコ事務局長が弔辞を述べ、続いて鳩山由紀夫内閣総理大臣や胡錦濤中国国家主席、ニール・マクレガー大英博物館館長の弔電が読み上げられました。その後、東京藝術大学音楽学部教員による奏楽の中、参列者の献花に移り、先生の遺影を見上げ目元をぬぐう参列者の姿があとを絶ちませんでした。

午後1時30分から3時までの一般献花には、約500人が平山画伯との別れを惜しみました。

平山郁夫シルクロード美術館では北杜市主催で2月23日(火)、同館2階平山郁夫展示室でお別れの会を開きました。

2時からの式典では白倉政司北杜市長、平山美知子館長ら関係者約150人が参列し、フルートが奏でられる中、出席者が献花を行いました。

北杜市の名誉市民でもあった平山画伯に北杜高校ブラスバンド部の生徒はフルート四重奏「シルクロード」を献奏し、昨年5月に開かれた絵画教室で交流を深めた市内小学生2人は「もっと先生に絵を習いたかった」「天国でも大好きな絵を描き続けてください」とお礼とお別れの言葉を述べました。



北杜市 お別れの会



平山郁夫未完の遺作を公開

平山郁夫が亡くなる直前まで入院中の病室などで描いていた未完成の絵を遺族が2月11日公開し、その模様は当日のTVニュースや新聞各紙で取り上げられました。

平山画伯最後の作品となった花の絵は、病室の窓辺に置いた花瓶に入った花の向こうにビルなど都会の風景が広がる構図。昨年7月から9月にかけて病床で描かれ、今春の院展に出品したいと話していたということです。闘病を続けながらも画家としての新たな境地を模索していた平山画伯の創作への意欲が衰えていないことがしのべれます。

作品は3月21日からの追悼展示「平山郁夫 最期の風景」で公開いたします。



美術館活動のご報告

講演会

『ガンダーラ仏像のふるさと』展の関連イベントとして、昨年の8月から10月にかけて宮治昭(静岡県立美術館館長、龍谷大学特任教授、田辺勝美(中央大学教授)、小泉恵英(九州国立博物館主任研究員)各氏にガンダーラ仏教美術についてご講演いただきました。

体験教室

日本画体験教室(9月26日)

講師/島山玲(日本画家)

参加者/大人12名

染色体験教室

『藍の干し葉と蓮葉染め』

(10月17日)

講師/中村まり子(染色家)

参加者/大人9名

子どものためのワークショップ

秋の子ども企画

木の実でシルクロードの動物をつくる

(10月25日)

講師/青少年ボランティア

(浅川さん、板山さん、島口さん、宮石さん)

参加者/子ども23名



日本画体験教室



木の実でシルクロードの動物

コンサート

シルクロードからの贈り物
オクサーナ・ステパニョック
コンサート

(10月13日)

出演/オクサーナ・ステパニョック
(バンドウーラ演奏・ソプラノ歌手)

参加者/89名



クリスマスミニコンサート

『オルガンの調べにのせて
クリスマスキャロルを歌おう』

(12月19日)

出演/原規之(ハケ岳リード)

参加者/70名(午前午後2回開催)
オルガン美術館



第1回

絵手紙コンテスト 受賞者一覧

昨年夏に募集した絵手紙コンテストでは約400点のご応募をいただき、厳正な審査のもと68点の入賞作を選出しました。受賞者については体育の日である10月11日、美術館ラウンジにて表彰式を執り行いました。式は中澤顧問による講評、平山美知子館長による賞状授与、入賞者全員で記念撮影と続き、最後に秋晴れの爽やかならぐ公園で簡単な茶話会を行いました。受賞者は以下の方々です。おめでとうございます。

2010年も開催する予定です。皆様もぜひご参加ください。(敬称略・肩書きは受賞式当時)

◎大賞

高垣直之 白州小3年
堀内 基希 長坂小4年
斉藤 昌子 山梨県

◎優秀賞

山田 舞刀 白州保育園(年長組)
進藤 悠作 小淵沢小4年
植松 浩貴 小淵沢小4年
横山 玲央 小淵沢小4年
石原 紗希 武川小4年
中山 美歩 武川小5年
横山 一石 赤羽小4年
数野 悦子 山梨県
古屋 けさよ 山梨県

◎特別賞

沛野 吉彦 小淵沢小4年
大森 健史 神奈川県
青木 壽子 New York, USA

◎入選

幼児の部

川山よしひろ いすみ保育園
古屋あきと (4歳)
藤原 奈々 しらかば保育園(6歳)
小柳 涼々 白鳩保育園(6歳)
小学生(低学年)
窪田ひかり 小泉小2年
今井 ふう 泉小1年
五味しおり 泉小2年
伏見 瑠翔 泉小3年
酒井 駿次 高根西小3年
清水あや花 高根西小3年

小学生(高学年)

渡辺 朋彦 駿台甲府小2年
佐藤 大樹 府中市立第三小3年
澤井 一樹 横浜市中立丸小2年
横山 明石 赤羽小1年
石原 大輝 武川小3年
仲山 紗奈 長坂小6年
浅川 志乃 泉小6年
浅川 琴 泉小4年
加藤あすさ 泉小6年
小林 亮祐 日野春小4年
向井 亮祐 日野春小5年
保坂 徹 小淵沢小4年
大島 優香 小淵沢小4年
田辺 馨 小淵沢小4年
高見沢千咲 葦崎北東小4年
酒井 謙伍 高根西小6年
桑嶋 燦 小淵沢小4年
藤森 成俊 小淵沢小4年
深沢 今利 小淵沢小4年

中学生

堤 悠 高根中1年
坂倉由香里 小金井第二中2年
齊藤 麻衣 お茶の水女子大付属中1年
加瀬七夏美 筑波大付属中2年

大人

切刀 美紀 山梨県
峯 若子 山梨県
三枝 恒子 山梨県
小田切明子 山梨県
坂倉かす子 東京都
横山 邦江 東京都

絵手紙コンテスト表彰式



山本やす子 東京都
関戸千恵子 神奈川県
佐藤 豊 神奈川県
佐藤穂奈美 神奈川県
佐藤 悦子 神奈川県
鈴木 敦子 愛知県
林 孝子 愛知県
堀口 真澄 奈良県
堀谷 留美 大阪府
中川美都子 大阪府
中山美知子 茨城県
森下あゆみ 岐阜県
池田 玲子 新潟県
Christine Leach Ohio, USA

2010年展覧会スケジュール

●館内展

3月21日～5月31日

カシミールショール

変化するペイズリー文様展

3月21日～7月12日

追悼コーナー

平山郁夫 最期の風景

6月3日～7月12日

平山郁夫シルクロード美術館

館蔵 名品展

7月18日～8月22日

シルクロード 奈良への道

平山郁夫展

8月27日～2011年2月27日

栄光のペルシア展

●館外展

奈良県立万葉文化館(奈良県明日香村)

シルクロード 奈良への道

平山郁夫展《巡回展》

4月17日～5月30日

平山郁夫美術館(広島県尾道市)

シルクロード 奈良への道

平山郁夫展《巡回展》

6月2日～7月14日

ペラ美術館(トルコ・イスタンブール)

平山郁夫展

8月6日～10月3日

開館カレンダー2010 前期

●…は閉館日です

4 APRIL							5 MAY							6 JUNE						
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
				1	2	3							1							
4	5	6	7	8	9	10	2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12
11	12	13	14	15	16	17	9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19
18	19	20	21	22	23	24	16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26
25	26	27	28	29	30		23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30			
							30	31												
7 JULY							8 AUGUST							9 SEPTEMBER						
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
				1	2	3	1	2	3	4	5	6	7							
4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11
11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18
18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25
25	26	27	28	29	30	31	29	30	31					26	27	28	29	30		

カシミールショール展
シルクロード奈良への道展
名品展(追悼展示は継続)
栄光のペルシア展
講演会

※5月4日は祝日のため開館
※6月2日、7月13～17日、8月23～26日は
展示替えのため休館
※展示替え休館以外の7、8、9月は無休

ハケ岳アート&クラフトネットワークおらんうーたん企画

ハケ岳の風 2010
—クラフトマンたちの15の展示会—

ギャラリー&ショップ亜細花(あしはな)の3階会場展示会
「ハケ岳の風」シリーズの第2弾。

今年は期間も作家も拡大して春から秋までの26週間、
15の展示会に32人の作家が参加します。

ガラス・木工・布・革・宝飾・陶芸・絵などジャンルも様々。

会場の広さを生かした作品の組み合わせの面白さが特徴です。

ここならではの展示会をお楽しみください。

詳細はおらんうーたんのHP (<http://yatsugatake-art-craft.jp/>) をご覧ください。

美術館 ボランティア会
研修旅行 (後記)

2009年11月10日実施

研修旅行に参加して

ボランティアスタッフ 越山敏子

今年より平山郁夫シルクロード美術館のボランティア活動に参加させていただき、楽しみながらも責任のある仕事であると実感するこのごろです。

秋の研修旅行は、当初よりぜひとも参加したいと願っておりました。昨年の佐川美術館旅行のことを参加された方から聞き、今年の佐久美術館、信濃デッサン館、無言館への訪問も、知識の豊富な皆様方と一緒にいくことによって得られることが多いものと大変楽しみにしておりました。最初の訪問先、佐久美術館では、学芸員の方から平山画伯の「仏教伝来」の解説を詳しく聞き、とても感動すると同時にこの絵に対する興味が一段と深まりました。企画展示が行われていたためか、他の大家の絵がなかったのがとても残念でした。

次に訪れた無言館の展示には、言葉に表すとなく違うものになってしまいそうな、なんとも言えない感覚を持ちました。戦争を体験した世代が少なくなってきた現在、多くの人に見てもらうことが最も必要かつ意義のあるものと



思いました。

信濃デッサン館は、隣接して前山寺というお寺があり、その環境、風景もまた一つの絵画のような感じがしました。前山寺の三重塔は後ろに山を抱え、とても風情のある落ち着いた所でした。

その後、玉村豊男さんのワイナリー・ヴィラデストガーデンで美味しいお菓子とお茶をいただき、心身ともに満足した研修ツアーでした。企画運営されたスタッフの方々、貴重な楽しい時間を過ごすことができ、心より感謝いたしております。本当にありがとうございました。



財団法人
平山郁夫シルクロード美術館

平山郁夫シルクロード美術館ニュース 第10号 平成22年3月30日発行

発行 財団法人平山郁夫シルクロード美術館

〒408-0031 山梨県北杜市長坂町小荒間2000-6 Tel 0551-32-0225

URL <http://www.silkroad-museum.jp>